



市民クラブ 中村 浩 議員

- 1 南浜ポンプ場の建設について
- 2 Cバスについてのパート16
- (1) 今後について

質問1(1) 都市計画決定が後になった江島や小山の雨水ポンプ場を先に建設し、南浜雨水暫定ポンプ場を設置後11年間も放置したのはなぜか。

答弁1(1) 江島ポンプ場は昭和60年度に着手し、2期に分け工事を行い平成10年度に完成。小山雨水ポンプ場は、平成16年度着手で平成20年度完成である。本市全体で事業に優先順位をつけて、雨水対策事業を実施している。長太地区においては、暫定ポンプ上流である長太川の矢板護岸工事を430.5m、長太栄町四丁目地内で排水路改良工事として2か所整備した。南浜雨水

ポンプ場の、建設時期は未定である。

質問1(2) 現在の暫定ポンプと今後について。

答弁1(2) 南浜雨水ポンプ場の暫定ポンプは、平成12年9月の集中豪雨による被害が大きかったことにより雨水対策として約6,700万円を投じ、市の単独費で設置した。平成16年度には非常用電気発電機を約650万円を投じ設置した。暫定ポンプは、事業認可後整備するまでの措置ではあるが、台風被害状況を検証し、今後の施設整備計画に反映していきたい。

質問2(1) 県の補助金が廃止された場合のCバスの方向性について。

答弁2(1) 現在の運行経路、本数の減便も含め、いかに効率的に行っていくのか、運賃体系の見直しを検討していく。



開政クラブ 森田 英治 議員

- 1 今後の生活排水処理について
- 2 学校の環境衛生の基準について
- 3 防災情報伝達システム整備工事

質問1 今後の生活排水処理について、公共下水道の建設コストが、合併浄化槽に比べて非常に高いことがこれまでの質問で明確になったが、今後の整備計画について検証・見直しを行うのか。

答弁1 今後、人口減少が予想されることや厳しい財政状況等を踏まえ効率的かつ適正な整備を進めるために、下水道の全体計画区域の見直しや他の汚水処理方法との役割分担も含め検討を行い1年でも早く整備できるよう考えている。

質問2 学校の環境衛生の基準について、学校の環境

(温度など)が適正に保たれているかを検査することになっているが、今年の検査結果は。また、移転予定の平田野中学校の高温対策の内容について。

答弁2 7月と9月に4小学校で検査を実施した。28.2℃～29.2℃で、基準値の範囲内であった。平田野中学校は、ひさしを1.9mと長くし、教室の天井高を高く設定するとともに、自然換気窓には遮断フィルムを張るなどの暑さ対策を行う計画である。

質問3 防災情報伝達システム整備工事の進捗状況と設備の信頼性に対する確認状況について。

答弁3 11月までに、設置場所の特定や地元自治会長への説明を終え12月中旬から設置にとりかかり、3月上旬に完成予定である。設備の信頼性は、取り付け工事後のテスト放送と完成時の検査を実施する。



日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 消費税増税の影響について
- 2 図書館のサービス充実について

質問1 国会で消費税引き上げ法が成立し、2014年4月に税率を5%から8%に、2015年10月には10%へと、一挙に2倍に引き上げられる。内閣府が出した試算では、年収300万円の4人世帯で増税が8.2万円、「一体改革」による負担増を含めると27.3万円、年収500万円世帯では増税11.5万円、負担増33.8万円にもなる。市民はこんな負担増に耐えられない。長期デフレの下で20兆円もの負担増を国民にかぶせたら、日本経済はどん底に落ちる。市財政にもどのような影響があると予想されるか。

答弁1 社会保障と税の一体改革による負担増は避けては通れない。負担増を重荷と感じない経済状況の好転を望む。市財政への直接の影響は、5.5億円の負担増と推計される。その他にも地方消費税交付金の増が見込めるが、地方交付税の減などの要素もあり、推計しがたい。

質問2 鈴鹿市の図書館のいちばんの問題点は、全域サービス計画を持っていないことである。各地域に分館を配置する計画を立て、予算や人員体制の充実をはかることを求める。

答弁2 今後の図書館ビジョンの中に、必要な指針として考えていきたい。